

にしあいづ

幸運の使い「巳」年 幕開け



「開運」願い、心を込め張り子製作

- P2～3 新年のごあいさつ
- P4～5 新年の抱負
-年男・年女インタビュー-
- P6～7 さらなる健康づくりの前進を目指し
-健康がいちばん!2012
inにしあいづ開催-
- P8～9 12月町議会定例会報告
- P10 -シリアーズ- 佐承員「松」紹介



新年のごあいさつ 頌 春



西会津町長 伊藤 勝

新春のお慶びを申し上げます。年頭にあたり町民の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

災害を乗り越えて

東日本大震災から1年9カ月がたちました。本町においては幸いにも地震での大きな影響はありませんでしたが、いまだに原発事故による放射能汚染の問題があります。今後も空間線量をはじめ、米や農林産物等のモニタリングを行い、町民の皆さんの安全・安心な暮らしを確保してまいります。

また、平成23年の7月末に会津地方を襲った豪雨では未曾有の被害となりました。

本災害により被災した道路、河川、農地農業用施設等の災害復旧工事については、12月をもって全事業とも終了することができました。

一方、阿賀川の増水により家屋の浸水被害を受けた橋屋・徳沢地区については、同じ災害を二度と繰り返さぬよう県事業により堤防が新設されることになり、両地区とも12月に工事が着手されました。事業推進にご協力いただいた皆様にあらかじめ御礼を申し上げる次第であります。

「住んでみたい、行ってみたい町へ」を目指して

平成25年度の事業推進の方針について述べたいと思います。

まず、今年には「住んでみたい、行ってみたい町へ」をテーマに定住促進と交流人口の拡大を総合的に推進してまいります。そのため引き続き「地域経済の活性化」「教育の振興と人材育成」「健康づくりと安全・安心」の3つの柱を重点施策として取り組みます。

*

1点目の「地域経済の活性化」では、原発事故の風評被害に対しては「こゆりちゃん」による町のイメージアップを図り、さらにグリーンツーリズムの推進、自然環境を活用した民泊・体験農業などにより観光・交流人口の拡大を図ります。農林業の振興では集落営農と加工商品化、商工業では野沢まちなか活性化、町内企業支援などに積極的に取り組みます。

*

2点目の「教育の振興と人材育成」では、西会津小学校新校舎整備事業、新たに認定子ども園整備計画の策定、子育て支援の一層の充実、また、次代を担う若者・後継者の育成を進めます。

3点目「健康づくりと安全・安心」では、「健康がいちばん！」をキャッチフレーズに食・運動・健（検）診を相互に連携した健康づくり、高齢者福祉介護施設の充実、デマンドバスの安定運行、西会津町縦貫道路の整備促進、再生可能エネルギーの普及促進に取り組みます。

本年も町民の皆さんとの対話を重視し、行財政改革と健全財政に努め、活力に満ちた「住んで良かったと思える町づくり」を進めてまいります。

蛇年、災害から脱皮し「復活と再生」に向けて

今年はい（蛇）年。蛇は古来より信仰の対象となっており、農禳神、天候神としてあがめられています。

また、蛇は脱皮することから「復活と再生」をも連想させるともいわれます。

福島県は、まさに災害からの「復活と再生」の時期にあります。風評被害を克服して元気な町政の伸展に一層の拍車がかかる一年でありますよう念願する次第であります。

町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。



西会津町議会議長 武藤道廣

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろから皆様には、私ども議会に対しまして、何かとご高配ご指導、ご叱正を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます次第であります。

さて、国内・県内の経済・景気の現状を見ますと、歴史的な円高基調の下で、依然として先行き不透明な状況が続いています。

また、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から1年9カ月が経過しましたが、わが国がかつて経験したことのない巨大地震・巨大津波の傷跡は、今なお深く被災地に残されています。加えて、福島県では、未来を担うとされていた原子力発電所で事故が発生し、その事故によって飛散した放射性物質が、いまだ県内のあらゆる分野に影響を及ぼしています。風評被害も今もって払拭されていません。

このような中、町は、町民の皆様にも身近な自治体として、風評被害の払拭はもとより、災害に強い安全・安心な町づくり、生活関連施設の整備、地域の活性化、総合的な福祉施策等を推進し、豊かな地域社会の実現を図ってゆくことが強く求められ

ているところであります。

地方分権の伸展に伴い、町議会も二元代表制の下で、町長その他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえるとともに、常に緊張ある関係を保ちながら、町民の皆様の福祉の向上および町政の発展に寄与していかねければなりません。

多様な住民の意思や意見を反映して、自治体として最終的に意思決定してゆくことは、議会に課せられた最大の役割であり、最大の責任であります。

町議会では、これまでケーブルテレビによる議会中継の実施や一般質問の一问一答方式と町長等における反問権の導入、会議録の公開などさまざまな議会改革に取り組んできたところであります。その上に立って、さらなる改革等を推し進めるべく特別委員会を設置し、議会基本条例の制定に向けた取り組みを鋭意進めてきましたが、本年3月開催の議会定例会において制定できる運びとなりました。

この条例は、これまで積み重ねてきた議会改革を基礎に、さらに公正で透明、開かれた議会を構築するため、議会の役割と活動の指針を町民の皆様に対して明らかにするものです。同時に、議会運営のルールを遵守し、実践することによって、町民福

祉の向上と持続的で豊かな町づくりの実現に寄与するため、西会津町議会の最高規範として制定するものであります。

議会基本条例制定後は、この条例に基づき、町議会の主催による議会報告会や意見交換会を開催するなど、より町民の皆様に関わられた議会の実現を図り、さらには行政の監視機能など議会の権能が十分に発揮され、政策提言を行うなど議会活動の強化に、より積極的に取り組んでいきますので、皆様のご理解を賜りたいと思います。

私ども町議会議員は、新しい年の初めにあたり、心を新たに、町民の皆様との緊密な連携・協働の下に、西会津町を誇りとし、「西会津町に住んでいて良かった」と真に喜びを実感できるような活力と魅力ある自立した町づくりの実現に向けて、引き続き懸命に努力してまいりたい所存であります。今年には巳年というところで脱皮を繰り返し、町議会ともども大いなる成長を目指して、町民の皆様の負託に応えるよう頑張ります。

どうか本年も町議会に対し、特段のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

新年の

年男・年女

抱負



明けましておめでとうございます。
平成25年を迎え、皆さんはこの一年をどのような年にしようと目標を掲げられましたか。
今年「巳年」。各地区の年男、年女の皆さんに新年の抱負や夢を語っていただきました。
今年も一年、皆さんにとって素晴らしい年でありますように、心からお祈りいたします。

良介さん — 昨年は仕事もプライベートもとても充実していました（おいしいお酒をたくさん飲むことができた一年でした）。責任ある消防団芝草班の班長を任せられ、消防団活動にも取り組みました。

今年も一年、妻、子ども3人の家族みんなが健康で元気に過ごすことができれば一番だと思っています。

友美さん — 娘の小学校卒業と中学校入学、子どものサッカーなどのスポーツ少年団活動、また、町民運動会や球技大会などの野沢地区の行事に参加し、去年は常にフル活動だった気がします。いろいろな人との交流の輪も広がりとても良い一年でした。

いつか医療関係の資格を取りたいと思っているので、その目標に向かって努力し、今年目標を達成できる年にできればと思っています。



二瓶 良介さん 友美さん

●昭和52年生まれ 芝草



伊勢亀 盛雄さん キミ子さん

●昭和16年生まれ 下小島

盛雄さん — 水稲とソバ栽培に力を入れていた昨年、9月に体調を崩してしまいました。稲刈りなどのことを心配しましたが、子どもたちの協力で何とか作業ができました。まさに子は宝で感謝しています。今年、まず健康に留意し、安心・安全で、おいしい米作りを目標に頑張りたいです。また妻と一緒に趣味や温泉巡りなどを楽しみたいと思っています。

キミ子さん — 去年は雪解けとともに少しずつ野菜作りに取り組みましたが、梅雨明けから毎日暑い日が続くと大変でした。また秋は急に寒くなり農家にとってあまり良い年ではなかったように思います。今年、年女ですので、健康に注意しながら安心して安全な野菜作りに挑戦し、目標である自分で作った野菜をわが家の食卓に並べることを続けていきたいと思っています。5月には孫の結婚式があるのでとても楽しみにしています。



かまくら あきお
鎌倉 明雄さん アルテミスさん

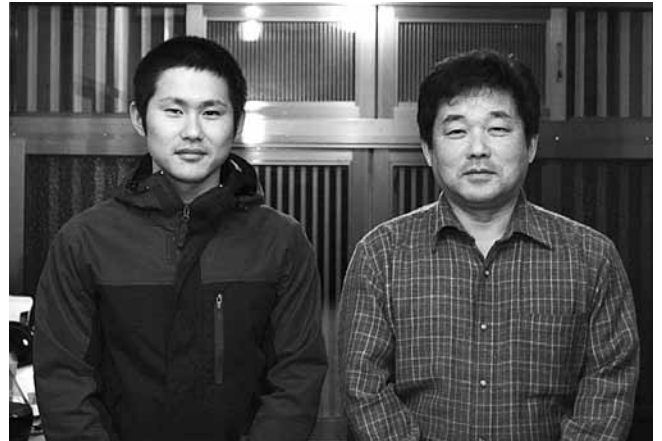
●昭和40年・平成13年生まれ 端村

アルテミスさん — 去年は、新しい西会津小学校でたくさんの方と友達ができ、毎日楽しく通学することができました。今年が6年生になり小学校が最後の年になるので、いろいろな思い出をつくりたいです。そして将来は、スポーツが好きなのでプロになりたいです。

明雄さん — 去年は特に大きな病気や、けがもなく、元気に過ごせました。その元気を仕事に生かすように心掛けてきました。今年も、仕事面では今まで以上に積極性を持って取り組み、より多くの方々に西会津町に来ていただけるようにと思っています。私生活では、とにかく子どもが一番。子どもたちがどのように大きくなっていくのか、とても楽しみです。休日など子どもたちとの時間を大切にしていきたいです。

保雄さん — 去年は特に大きな変化はありませんでしたが、家族みんな健康で過ごすことができました。今年も高校3年の次男が家を離れることとなります。娘と二人の息子たちには、それぞれの目標に向かってひとり立ちしてほしいと思っています。また、体重を落として山菜、きのこ採りなど好きな山歩きに耐えられるよう体力をつけたいと思います。

康史さん — 消防署に勤務し5年目、去年の4月から喜多方消防署に配属となり、夜間の出勤など体力的にきつい場面もありましたが、けがもなく無事に一年を過ごすことができました。今年も、大型免許などさまざまな資格取得に挑戦し、生まれ育った西会津町のために貢献できればと思っています。



うえの やすお やすし
上野 保雄さん 康史さん

●昭和28年・平成元年生まれ 井谷

私にとっての平成24年は、ミスおとめゆりの活動でラジオに出演したり、イベントで町をPRしたりと、とにかく慣れないことにチャレンジした一年でした。さらに4月から郵便局に勤め始め、研修や資格の勉強に励んできました。

今年も、まず、ミスおとめゆりの任期が残りわずかになりましたので、町が盛り上がるよう最後まで精いっぱい活動したいと思います。また仕事面では、もっと勉強してお客様と積極的に接することができるように努めていきたいです。

大好きな西会津ですと暮らしたいと思っていますので、仕事でもプライベートでも地域の皆さんに信頼され、役に立てる人間を目指して頑張りたいと思います。



こばやし
小林 めぐみさん

●平成元年生まれ 山浦



さらなる健康づくりの前進を目指し

健康がいちばん! 2012 in にしあいづ 開催

食と運動と健診

「健康がいちばん宣言」を読み上げる体験発表者の皆さん

この「健康がいちばん! 2012 in にしあいづ」は、町民参加型健康まつりとして、町民の皆さんの健康に対する意識付けと、実践に役立てるきっかけとなるよう開催しました。

まず、オープニングのアトラクションで町内の保育所児童が「こゆりちゃん音頭」を披露して健康まつりが開会し、続いて伊藤町長が「町では高齢化率が40パーセントを超え、高齢者だけの世帯や、独居老人世帯も増加しています。これまでの健康づくりをさらに前進させるため『健康がいちばん』をキャッチフレーズに「食」「運動」「健(検)診」の取り組みを国のモデルケースとなるべく推進していきたい」とあいさつしました。

次に、武藤町議会議長、金子参議院議員、小熊参議院議員、瓜生原議会議員、山口喜多方市長が祝辞を述べました。

その後、健康福祉課職員による寸劇が行われ、引き続き、福



西会津町「健康がいちばん」宣言

健康で心豊かに生活することは、わたしたち町民すべての願いです。

子どもから働き盛りの若者、そして高齢者まで、すべての町民が健康であるよう、「食と運動と健(検)診」を三つの柱に、健康増進の取り組みを進めます。

- 健康のため、安全・安心な食べ物を生産し、提供しよう努めます。
- 健康のため、地元のおいしい食材を使ったバランスのとれた食事を普及させ、提供しよう努めます。
- 健康のため、町民一人一運動を心がけ、日ごろの運動が習慣となるよう努めます。
- 健康のため、各種健(検)診を積極的に受診し、疾病の早期発見・早期治療ができるよう自己管理に努めます。

本日の町民参加型健康まつり「健康がいちばん! 2012 in にしあいづ」を契機として、「健康がいちばん」をキャッチフレーズに、全町民が健康づくり運動に取り組むことをここに宣言します。

鳥県立医科大学附属病院・人工透析センターの寺脇博之特命准教授が「生活習慣病の予防について」を演題に講演しました。

講演の後には、体験発表が行われ、その後「健康がいちばん宣言」が満場一致で採択されました。

式典後の昼食では、食生活改

善推進員の皆さんが車麩を使って作った「麩っカツカレー」が来場者に提供されました。

午後の部では、来場者が自分の健康づくりに役立てられるよう運動コーナーをはじめ、健康づくりコーナー、健康相談コーナーなどが設けられ、来場者は運動などを実際に体験しました。

町では、これまでの健康づくりの取り組みをさらに進めるため、「健康がいちばん」をキャッチフレーズに掲げ、健康な生活の基盤をつくる「食」「運動」「健(検)診」を相互に連携しながら、子どもからお年寄りまで、すべての町民の皆さんが丸となり、さらなる健康づくりに取り組むこととしました。

この健康づくりの取り組みを推進するスタートと位置付け、11月23日、西会津中学校で「健康がいちばん! 2012 in にしあいづ」を開催しました。



▲講演する寺脇特命准教授

『生活習慣病の予防について』
 『死の四重奏「高血圧・糖尿病・肥満・脂質異常症」の予防』
 福島県立医科大学附属病院
 人工透析センター
 寺脇 博之 特命准教授
 死の四重奏と呼ばれる高血圧・糖尿病・肥満・脂質異常症の生活習慣病の背景にある共通点は、いずれも自覚症状が無く、どの疾患も血管を痛め、「食べ過ぎ」が原因になっています。「人は血管とともに老いる」といわれており、30歳を過ぎると臓器の機能も低下していきます。生活習慣病はこれを速め、腎機能の低下や脳卒中が増えることも報告されています。

健やかに長生きするためには、日常生活の中でカロリー（糖質や脂質）のとり過ぎを避け、また、塩分のとり過ぎにも注意が必要です。

このため、腹八分目、そして適度な運動、健（検）診や医療機関の受診、血圧の自己測定などを通して、日ごろから自分の健康を自分でしっかり管理することが大切なのです。

体験発表から



「三世代で健康づくり」

堀越 齋藤 奏子さん・朱峰さん

16年前、九州から町に嫁ぎ、食生活の違いに戸惑うことがありましたが、畑の野菜に囲まれ、新鮮で旬のものを味わえることはぜいたくで幸せを感じます。母が料理を手伝ってくれ、その郷土料理のおいしいこと。子どもたちもおばあちゃんの料理が大好きです。小中学校では「手作り弁当の日」があり、忙しい中でも、子どもたちと食について話せるいい時間をいただいています。子どもたちは台所に一緒に立ちたがるので、断らず一緒に料理し郷土料理、母の味を伝えていけたらと思います。

「若手農業者から見た食と健康」

萱本 渡部 佳菜子さん

専門農家に生まれ、幼いころから両親の働く姿を見て、「農業は楽しい」という思いで育ち、将来は農業に就く」と思っていました。県立農業短期大学で仲間と過ごした学習や実習体験が、今生かされています。特に現在、土壌の健康に気を付けミネラル栽培をしています。土壌の栄養バランスと人間が食べる栄養バランスは同じく、とても大切に考え、同時に、見た目、香り、味わいから「おいしい」と感じることを大事にしたいと思っています。



「歩いて健康づくり」

4町内 大堀 一衛さん

健康運動推進員として、運動を通じた健康づくりに携わり、高齢者の介護予防のための運動教室に参加しました。運動は、特に冬期間できなくなる人が多いと感じています。健康運動推進員の養成講座でノルディックウォーキングと出会い、団体を設立しました。県内外の方々とも交流し、まだ新しいスポーツですが、広がってきています。また、設立した団体で大会を開催し、多くの参加をいただきました。身近な運動を通して楽しく体力づくりを続けていきたいと思っています。

「食を提供する立場からの

健康づくり」

4町内 齋藤 フミ子さん

レストランで食を提供する側になり思い返すと、食生活教室で町の健康づくりについて学習し、食生活改善推進員としてまずは家庭の食生活改善、地域への普及活動に参加したことが現在の基礎になっています。減塩料理の提供や、みそ汁塩分の測定から、健康づくりには食事が大切だと実感しました。女性起業家の育成講座にも参加しました。地産地消、旬の野菜の効果に加え、愛情を一番大切にしてスタッフとおいしい料理を提供していきたいと思っています。



「90歳まで元気でいる秘訣」

上野尻 清野 フミさん

行商で鍛えた脚と厳しい仕事に耐えた体力は、何でも好き嫌いなく食べ、体を動かしてつくられたと思います。若いころ洋裁や和裁を習い、今でも自分で針溝への糸通しができるので、人形やお守りを作り、人にあげることが楽しみです。また、日記を毎日書いています。その日の出来事や、忘れてはいけないことを読み返しては友達と話題にしています。脚が丈夫なおかげで踊りも踊っています。何にでも挑戦することが、元気で過ごせる秘訣だと思います。

「検診を受けて

家族の支えで助かった命」

上野尻 中島 和男さん

健康や体力には自信があったのに、3年前の検診で、初めて要精検になりました。すぐに精密検査を受け、大腸がんが見つかりました。ショックでなかなか妻にも話すことができず、悪い夢を見ることもありました。病院へ手術に行くときには、帰ってこれないのではと思いました。今では妻に同伴してもらい、定期検診を受けています。そして、孫の成長を楽しみに、農業にも励んでいます。ぜひ、検診を受けてほしいと思います。



12月 町議会 定例会報告

12月町議会定例会は、12月7日から12日までの6日間を会期に開かれ、条例の一部改正、平成24年度の補正予算など議案15件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

町政の 主要事項報告 から

ケーブルテレビ高度化事業 について

本年4月から進めてきた「ケーブルテレビ高度化事業・上谷地区整備工事」が、10月22日に終了し、平成22年度に開始した第2期工事がすべて終わり、町内全域の加入者宅までの光ファイバー化が完了しました。これにより、今後予測される

情報通信量の増大に対処できる基盤が整い、落雷などによる伝送路の被害が減少するなど、将来に向けた維持管理費の軽減も図られることになりました。

町では、この高度情報網を活用した情報施策のさらなる推進を図っていく考えです。

あいづダストセンターの下水道汚泥受け入れ再開について

本年6月29日に、あいづダストセンターから産業廃棄物処理に係る公害防止協定を締結している西会津町、柳津町および県会津地方振興局に対し、下水道汚泥の受け入れを再開したい旨の申し出があったことから、公害防止協定の処理基準に基づき対処するため、去る10月12日に協定締結者立ち会いのもと、焼却実証実験を行いました。

実証実験では、柳津町の放射能濃度330ベクレルの下水道汚泥2・4トンに木くずを混合し燃焼させ、その飛灰の放射能の濃度を1時間ごとに測定した結果、最大で540ベクレル、平均で423ベクレルとなり、国が示す埋立処分が可能な濃度8千ベクレルを大きく下回る結果となりました。

この実証実験の結果を受け、公害防止協定の処理基準を満た

すことが確認されたため、あいづダストセンターでは10月30日に柳津町、11月7日に西会津町の下水道汚泥の受け入れを再開しました。受け入れ後に確認した飛灰の放射能濃度は、平均で柳津町が405ベクレル、西会津町は182ベクレルとなっています。

放射性物質の環境モニタリング調査について

町では、町民の皆さんの生活環境が安全・安心であることを確認するため、空間放射線量調査と河川水等の放射性物質調査を毎月実施してきました。

空間放射線量調査では、町内全自治区および学校、保育所等の公共施設合わせて177カ所すべてで国が示す基準1時間当たり0・23マイクロシーベルトを大きく下回っています。また、あいづダストセンターの流域での河川水等の放射性物質調査では、不動川など5カ所の調査地点すべてにおいて放射性物質は検出されていません。

食品等のモニタリングについて

町では、農作物等の放射能簡易検査を3月22日から実施しています。

12月3日までの間、野菜や井戸水、山菜、きのこ類など10

6件の検査を実施してきましたが、いずれの食品等からも基準値を超える放射性セシウムは検出されていません。

学校給食用食材の放射性物質検査について

町の給食センターで使用している学校給食用の食材は、県などが行うモニタリング検査で安全性が確認されたものだけを使用していますが、さらに町では、安全性を再確認するため、独自に放射性物質の検査を行っています。具体的には前日に納入された食材をその日のうちに検査し、安全性を確認した上で使用しています。これまで放射性セシウムは検出されておらず、安全な食材であることを確認しています。

農林産物の放射能検査の状況について

まず、米のモニタリング検査については、県と連携し、早場米は、すべての米の全量全袋検査を、また一般米については、旧市町村単位でそれぞれ3点、計33点の検査を実施しましたが、そのすべてから放射性セシウムは検出されていません。

一方、放射性物質が基準値を超える県産米を絶対に流通させないことを目的に、本年度新たに県独自で実施した全量全袋検

査については、11末日現在、町では、当初計画の9割にあたる約10万袋の検査を終えたところであり、この結果、そのほとんどで放射性セシウムは未検出で、町内産の米の安全性が確認されたところです。

このほかの農林産物等についても、野菜をはじめ、きのこ、山菜、果実、そば、加工食品のほか、牧草、飼料作物、土壌、農業用水、阿賀川水系の魚類など、11月20日現在346件の検査を行っています。米と同様に、未検出あるいは基準値を大きく下回っており、安全性が確認されています。

第5期介護保険事業計画・地域密着型サービス施設等の整備に関する公募について

この公募の内容は、住み慣れた地域で生活していくことを支援する施設として、認知症対応型共同生活介護施設グループホーム「2ユニット・定員18名」および小規模多機能型居宅介護施設「登録定員25名以下」、特定施設入居者生活介護施設「介護付き有料老人ホーム・定員20名」の整備で、去る10月10日から11月8日まで町ホームページなどで公告し公募した結果、3事業所から応募申請がありました。現在、地域密着型サービス等



望しているところです。

無料職業紹介事業について

事業者選定要綱に基づき、選定の準備作業を進めており、12月中に選定委員会を開催し、申請内容などの事前審査を行った後、事業所ヒアリングを実施する予定です。この結果を受け、町が事業所の決定を行うこととしていきます。

緊急雇用創出基金事業・震災対応事業について

県内では復旧・復興需要や企業の生産回復などを背景に、雇用の情勢は徐々に改善しています。町では、一人でも多くの雇用の場を確保するため、本年度も県の緊急雇用創出基金事業・震災対応事業を活用し、町道等の美化作業や、耕作放棄地の現況確認など12件で31名の雇用を確保したところです。

今後の緊急雇用創出基金事業に係る国の動向が不透明な中、県では来年度も事業を継続し実施する見通しであることから、町としては各種事業について要

配分されました。これは昨年に比べ約107トン、23ヘクタール減の数量でしたが、昨年度に引き続き県内では、作付けが困難な地域との産地間調整が実施されたことから、面積換算で約82ヘクタールを引き受け、農家の皆さんのご理解とご協力をいただき町全体の数量目標を100パーセント達成できました。

町公民館・文部科学大臣表彰受賞について

町公民館は、11月13日に文部科学大臣より第65回優良公民館表彰を受賞しました。この表彰は、町公民館が生涯学習振興計画に基づき生涯学習を推進し、講座やイベントなどの充実、さらに職員研修にも積極的に取り組み、また、放課後子ども教室や、学校支援地域本部事業など地域と連携した特色ある取り組みなどが評価され受賞したものです。

町では、今回の受賞を契機に講座の充実を図るなど、生涯学習のさらなる推進に努めていきます。

橋屋遺跡発掘調査の進捗よく状況について

本年度に発掘調査を実施している橋屋遺跡については、8月いっぱい現場の作業が終了し、

現在、報告書の作成作業を進めているところです。

去る11月24日には、橋屋集会所において橋屋遺跡説明会を開催しました。

説明会では、調査を依頼している佐藤光義先生ほか2名の先生方から、地質や遺跡の概要、

出土した土器などについて説明が行われ、地元の橋屋自治区の皆さんが理解を深めました。

出土品の中には、朱塗りの土器など希少なものがあつたため、東京大学に送り、現在、詳しい分析を行っているところです。

可決された

議案

- ◆平成24年度町一般会計補正予算【第5次】の専決処分の承認——12月16日投開票の衆議院議員総選挙に係る費用の専決による追加
- ◆町暴力団排除条例の一部改正——暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部改正に伴う町条例の条番号の整理
- ◆町立学校教職員宿舎に関する条例の一部改正——西林地区の2棟の教職員宿舎のうち、現在未使用の1号棟を有効に活用するための条例改正
- ◆平成24年度町一般会計補正予算【第6次】——県ブランド・イメージ回復支援交付金の東日本大震災復興基金への積み立てや、林道開設工事費の減額、人件費の調整などによる6千670万3千円の増額
- ◆平成24年度町下水道施設事業特別会計補正予算【第1次】
- ◆平成24年度町農業集落排水処理事業特別会計補正予算【第1次】
- ◆平成24年度町個別排水処理事業特別会計補正予算【第1次】
- ◆平成24年度町後期高齢者医療特別会計補正予算【第1次】
- ◆平成24年度町国民健康保険特別会計補正予算【第3次】
- ◆平成24年度町介護保険特別会計補正予算【第2次】
- ◆平成24年度町簡易水道等事業特別会計補正予算【第1次】
- ◆平成24年度町水道事業会計補正予算【第1次】
- ◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更——新郷辺地・高目地区の防火水槽整備費の増額に伴う計画の変更
- ◆財産の取得——尾野本地区の児童送迎用スクールバス1台の更新
- ◆町道上野尻村中線消雪施設設置工事請負契約の変更契約

町では、町内の貴重な民俗芸能や伝統技術などを保存し、後世に伝えるため、新たに「伝承員制度」を創設した。

シリーズ最終回の今月は、日本陶芸の小瀧達男さんに話を伺った。

陶

芸は、粘土を成形し、高温で焼くことによって陶磁器などを作る技術である。粘土の種類やこね方、手びねりや、ろくろといった造形方法、上薬、そして焼く温度など、さまざまな要素が作品に反映するため、いろいろな技法が全国各地、世界中に存在する。

小瀧さんは、若いころから陶芸に興味を持ち挑戦したいと思っていた。

「師匠は清野学さん。12年ぐらいい前、彼が信楽焼の修業から戻り自宅でろくろを回している姿を見て、やってみようと思った」と小瀧さんは陶芸を始めたきっかけを語った。

以来、小瀧さんは陶芸にのめり込み、2年後には、ろくろを自ら購入し独学で腕を磨いてきた。この間、会津本郷焼をはじめ、田島万古焼、遠くは茨城県の笠間焼などの窯元を訪れ技術を学んできた。

作

品を作り上げるには約1カ月かかる。その工程は、まず粘土を練り、ろくろを用いてその粘土を器などに成形し素地を作り、自然乾燥させた後、素焼きし作品を焼き締める。次に、絵付け、化粧、上薬を掛ける工程を経て、本焼きという流れである。現在、本焼きは1300度の窯で約10時間焼いている。本郷

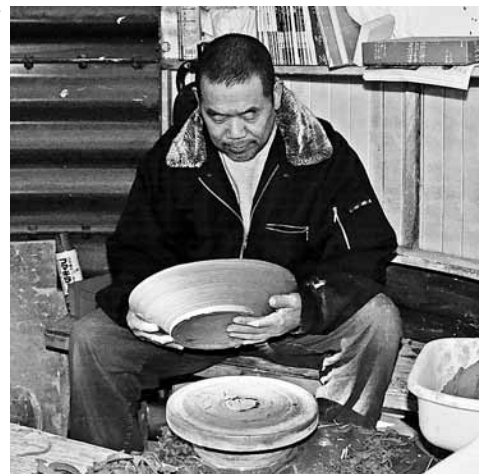
シリーズ

6

伝承員「技」紹介



【写真下】絵付けした大皿や、コーヒーカップなど小瀧さんの作品／【写真右】「ろくろ」を前に作品を手にする小瀧さん



伝統技術・日本陶芸

こだき たつお
小瀧 達男さん[大久保]

焼は、登り窯で三昼夜も焼くそうである。「上薬を掛ける加減で色が変化する。このため手作りの場合、同じ作品は二つとできない。だから難しく、面白い。自分が思い描いたイメージどおりうまく仕上がったか、本焼き後に、窯の扉を開ける瞬間が一番の楽しみ」と小瀧さんはその魅力を語った。

現

現在、小瀧さんは、毎年5月から11月まで週1回開催されている町老人クラブ連合会主催の陶芸教室で講師を務め、町民の皆さんに陶芸の技術を伝えている。今年度は15人が参加し陶芸を学び11月27日に窯納めを行い今年度の活動を終えた。気温が10度以下になる冬季は成形した作品がなかなか乾燥しないからである。

小瀧さんは、自宅隣のろくろのある小屋で最近ではコーヒーカップや、蓋付きの器などを中心に製作にあたってきた。取材で伺った日、作品が展示された玄関奥のショーケースの中から、いくつか作品を見せてもらった。

自分で作ったものを小瀧さんは友人に贈っている。「作品は飾って見るより、使ってもらうことが一番。使うほどに愛着がわく」と小瀧さんは強調する。

最

後に小瀧さんは、「今後は日常使用する限界の大きさの作品にも挑戦してみたい。また、陶芸教室にかかわり3年目。今は60歳以上の方を対象に陶芸を伝えているが、今後は子どもや若い人たちにも教えてみたい。それが本当の意味での伝承だから」と抱負を語った。



齋藤宏一さん「社会教育功労者表彰」受賞

社会教育の振興および生涯学習推進体制の確立に長年にわたり尽力した齋藤宏一さん(3町内)が、このたび文部科学大臣からの社会教育功労者表彰を受賞し、その報告のため11月30日に町役場を訪れました。

齋藤さんは、22年余にわたり公民館職員として町の地域青年団や婦人会活動の充実・活性化のための講座開設をはじめ、ボランティア活動の育成のほか、町の記録映画の制作や巡回映画会の開催など、社会教育・生涯学習の振興、また、埋蔵文化財の発掘調査などにも積極的にかかわり、地域に根ざした公民館の運営に大きな功績を残しました。齋藤さんはこの日、町長室を訪れて当時の取り組みを振り返り思い出などを語っていました。

飯澤武司さん「県技能者知事表彰」受賞

県内の技能者の技能水準向上などを目的に、優れた技能者を表彰する今年度の福島県技能者知事表彰[県の名工]を飯澤武司さん(芝草)が受賞し、12月3日、報告のため町役場を訪れました。

飯澤さんは、絵が好きで、また映画の看板にひかれ、昭和34年、会津若松市の看板製作会社に入社し、特徴をとらえてデッサンし、色付けする手仕事での映画看板製作を始め、基礎を修業した後、昭和41年に独立・開業し、現在まで約53年にわたり広告美術工として、機械化が進む中、手書きのデッサンにこだわり看板製作にあたってきました。今回、飯澤さんはその卓越した技能と若手技能者育成などの功績が認められ受賞しました。



長年の功績と善意に感謝状

群岡診療所長として昭和61年から26年7カ月の長きにわたり地域医療のため日夜尽力し、本年10月31日をもって退任した小林貞夫医師から、町民の健康増進と、東日本大震災の復興支援を目的に町に寄付が寄せられ、12月4日、小林医師への感謝状の贈呈が町役場で行われました。

小林医師は、疾病治療はもとより糖尿病患者への食生活指導、内視鏡検査による消化器系がんの早期発見などに努め、町民の健康維持増進に多大な功績を残しました。贈呈にあたり伊藤町長は「これまでの献身的な医療提供ならびに、このたびの多額の寄付に心から御礼申し上げます」と小林医師に感謝状を手渡しました。

放射線の影響を学ぶ

11月27日、食品と放射能に関する説明会が道の駅よりっせで開かれ、参加者は、放射線の人体への影響などについて学びました。この説明会は、放射線に関する知識や情報を提供し、より多くの町民の皆さんに理解していただくため県主催で開催され、独立行政法人・放射線医学総合研究所の長谷川主任研究員が「放射線の健康への影響」を演題に講演し、消費者庁消費者安全課の金田企画官が「食品中の放射性物質の新基準値」について説明しました。また説明会では、放射能簡易分析装置を用いた測定が実際に行われました。町では引き続き、町民の皆さんの食品等の安全・安心の確保に努めていく考えです。



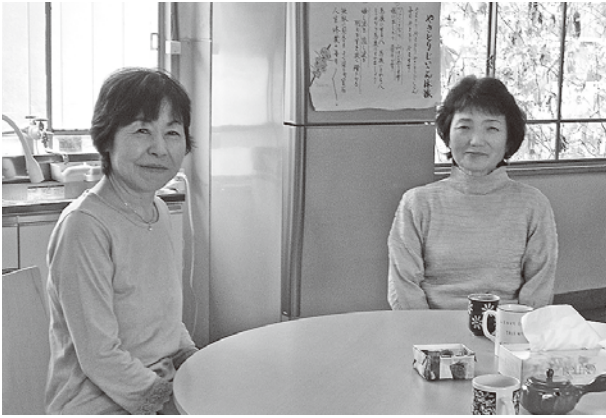
心の健康をサポート

〜住み慣れた地域で共に生活するために〜

地域のみんでサポート

心の病気は、周りの人になかなか理解してもらえず、病気への誤解や偏見に苦しんでいる人も少なくないようです。心の病気は、誰もがなる可能性があります。心の病気になっても周囲のサポートがあれば、社会生活は十分可能であるため、現在は、これまでの長期入院から退院し、地域社会で生活するように促されている状況です。

このようなことから、地域の中では、こうした方の生活を応援してくれる人々の存在や、働く場所が求められています。



▲「にこにこ相談所」相談員の佐藤トミさんと齋藤信子さん[左から]

「にこにこ相談所」の概要

【目的】

相談所では、自宅以外の出掛けられる憩いの場を提供し、生活のリズムを整え、疾病の再発を予防するため、日々の健康チェックを行い、生活習慣病の予防にもつなげています。

【利用できる方】

精神科に通院されている方、引きこもりがちな生活を送っている方、心に悩みがあり困っている方およびその家族

【活動内容】

ストレッチ体操をはじめ、散歩や音楽鑑賞、読書、創作など自由に時間を過ごし、仲間との交流を図ります。

【日時】

月曜～金曜日の午前9時から午後3時まで
(年末年始・祝日を除く)

【場所】

旧群岡中学校 ☎47-2380

【利用料】

無料(ただし、弁当持参でお茶代を別途いただいています)送迎は行っていませんので、自家用車や公共交通機関をご利用ください。

「精神デイケア」「あつまっ会」の活動

町では、平成23年6月に「にこにこ相談所」を開設し、心の病気を患っている方が自宅以外にも活動の場を広げ、住み慣れた地域で安定した生活を送ることができるよう、相談員や保健師などがサポートにあたっています。

精神デイケア「あつまっ会」は、保健福祉ボランティア・トライアングルの会の協力を得て、月に1回程度、保健センターで、作業や学習会などを開催しています。

活動の内容は、畑作業や学習会、調理



▲あつまっ会の「ふるさとまつり」出店の模様

「にこにこ相談所」を開設し支援

実習のほか、ふるさとまつりでの出店や視察研修なども行っています。こうした活動を通して参加者同士、また地域の皆さんとの交流を図り、参加者が活動の場を広げ、安定した生活を送る力を身に付けることができるような取り組みを進めています。

心の健康に関して、本人、家族で困っている方は、独りで悩まずお気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】
健康支援係 ☎45-4532

すごいな!

むし歯のない子

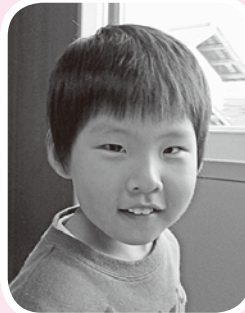
11月28日、3歳児7名を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は4名でした。



ふうま 佐藤 楓馬 くん
(宝川)



りゅう 青津 龍 くん
(縄沢)



はると 鈴木 晴翔 くん
(松尾)



ゆうしん 加藤 悠心 くん
(下小屋)

地域の子どもは

地域で育てる

近年、子どもを取り巻く環境は少子化などにより大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに大きく育て、町では、学校、家庭、地域が連携し地域全体で教育力の向上に取り組み体制づくりとして学校支援地域本部を設置しています。

学校支援地域本部とは

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていこうというもので、学校からの支援要望に応じ、地域の方々がボランティアとして派遣され、学校の授業や部活動を支援していく事業です。町内ではボランティア活動サポートセンターに登録されている42名の学校支援ボランティアの皆さんが活躍しています。

学校支援地域本部の目的は

地域全体で学校を支援していくことにより、教員や地域の人たちが子どもと向き合う時間を増やすことができるほか、地域の皆さんの知識や経験を子どもたちの教育に生かすことで、よりきめ細かな教育と地域の教育力の向上を図ることができます。

ボランティアの皆さんによる学校支援の内容(平成24年度)

西会津小学校	学習支援	2年生：どきどきわくわく町探検
		3年生：川の名人の話を聞こう
		3年生：町の花「おとめゆり」見学
		3年生：町めぐり（見学学習）
		4年生：町の自慢を探しに行こう
西会津中学校	部活動支援	6年生：高齢者疑似体験
		1年生：総合学習（町の実地調査）
		卓球部：卓球の技術指導
		剣道部：剣道の技術指導



川について熱心に教える五十嵐さんと伊藤さん

川の名人の話を聞こう

西会津小3年生42名が、5月30日の総合社会学習の時間に、町漁業組合の五十嵐幸一さん（下小屋）と伊藤喜允さん（出ヶ原）から町内を流れる川について学びました。この学習では町の地図で川の間所をはじめ、生息する生物について詳しく説明が行われました。また、講師の二人は「川を汚さない」「ごみを捨てない」など自然環境の大切さについても熱心に教えていました。

西会津の身近な川を伝えたい

下小屋 五十嵐 幸一さん

小学校が統合され、西会津小学校1校になり、各地区から通って来る子どもたちに今回の学習で町内の川の名前や、川は水が大事であること、さらに、水がきれいであれば生物がすめないことなどを教えることができました。

学習の中では、自分たちが住む地区の川の名前を知らない子どもが多いことに驚きました。また、真剣になって話を聞いてもらい、後日、子どもたち一人一人から手紙をいただき大変うれしく思っています。

これからも、こうした学習支援活動を通して身近な川について子どもたちに伝えていきたいと思っています。



児童たちと一緒に話を聞く渡部さん

どきどきわくわく町を探検

6月26日には、西会津小2年生43名が生活科の授業で野沢地区の商店や施設をボランティアの皆さんの案内で訪問しました。

ボランティアとして参加した渡部雅二郎さん（黒沢）は、児童5名と一緒に呉服店を訪れました。

渡部さんは、児童たちが質問しやすいようアドバイスし、また訪問先までの交通マナーなどを教えていました。



町民バトンタッチ

すとう けん
須藤 謙さん [西原]

さいとう ひでき
齋藤 秀樹さん (12月号から) メッセージ

大変だと思うけど仕事がんばれ!!

あなたの趣味は?

釣り (最近は溪流釣りです)

最近感動したことは?

喜多方で二重の虹を見たこと

自分を一言で表現するとしたら?

老け顔

あなたのモットーは?

自分らしく

特技は?

野球・バスケットボール・
剣道

熱中していることは?

洋画のDVD鑑賞

これからやってみたいことは?

桧原湖でのワカサギ釣り

次の方を紹介してください

T・Sさん (下小島)

あなたの宝物は?
「錬心館からいただいた手ぬぐいです」
「中学まで通っていた錬心館から卒業時にいただいた物です」



町民 ギャラリー

上野尻俳句会

「あいうえお」 大口開ける冬の朝

ふるさとの大地を包み雪の花

心技体欠けることあり年の暮

どの人も努力の笑顔年忘れ

冬深むひとり暮らしのまとめ買い

渡部由起子 (萱本)

星 敬介 (上野尻)

豊島 登山 (下野尻)

高橋 栄子 (上野尻)

石川 茂子 (西原)

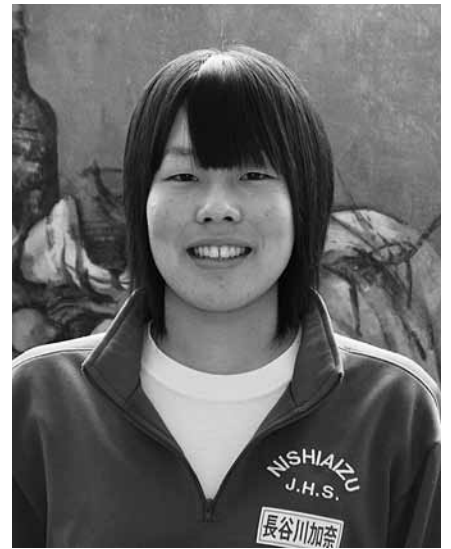
聞いて! わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の想い描いている夢や目標などを話していただいています。

今月は、3年・元ソフトボール部部長の長谷川加奈さんです。

わたしの夢——

「わたしは将来、人の役に立つ仕事に就きたいと考えています。今はまだ、はっきり決まっていませんが、看護師や介護福祉士、理学療法士、助産師など興味のある仕事がたくさんあります。母が介護員ということもあり、小さいころから福祉関係の仕事に興味がありました。2年の職業体験では、憩の森で実際に仕事を体験し、体力的・精神的に大変な仕事だと分かりました。しかし、利用者から感謝の言葉をいただいたときの喜びはとて大きく、やりがいのある仕事だと感じました。将来は人に必要とされ、人の役に立ち、やりがいのある仕事に就きたいです」



努力していること——

「普段の生活の中で人に接するとき、公平に、そして親切にするように心掛けています。また、わたしは相手が笑顔で接してくれるとうれしい気持ちになるので、相手には笑顔で接するようにしています」

最後に未来の自分に一言——

「人に優しく、自分に厳しい大人になってください。初心忘れるべからず!!」

まちの人口 ～12月1日現在～ (前月比)

人口 7,477人 (-21人)
 男 3,600人 (-13人)
 女 3,877人 (-8人)
 世帯 2,804世帯 (-5世帯)

戸籍の窓口 ～11月受付分～ (敬称略)

お誕生おめでとう

橋本 ^{りん}凜ちゃん 哲昭・まどか 西林東



ご結婚おめでとう

目黒 貴之 牛尾
 渡部 はるか 喜多方市

小野木 正英 真ヶ沢
 小柴 宏美 会津若松市



お悔やみ申し上げます

高橋 ツギノ (99)	庄 平	母	堀 越
渡部 正三 (82)	虎 一	父	萱 本
長谷川 ミネ子 (86)	廣 志	母	松 尾
小林 ヨシ子 (86)	三宅貴夫	母	上野尻
中島 駒雄 (94)	貞 子	夫	上野尻
高橋 繁 (85)	敏 夫	母	樟 山
岡野 恵枝 (80)	義 弘	母	下 松
矢部 俊子 (86)	秀	母	中ノ沢



人事のお知らせ

町交通教育専門員として
 新澤光男さん(8町内)が
 再任されました。



【任期】平成24年12月1日から
 平成27年11月30日まで(3年)

「優良公民館表彰」
 町公民館が受賞

町公民館が、このほど優良
 公民館表彰を受賞しました。

本表彰は、町生涯学習振興計画を策定し、同計画に基づき放課後子ども教室推進事業や、学校支援地域本部事業など地域と連携した取り組みが評価され受賞しました。



お知らせ

第23回 西会津雪国まつり
 2月10日(日) 開催決定



恒例の冬のビッグイベント「西会津雪国まつり」を今年も「さゆり公園」で開催します。

子どもから大人まで楽しめる西会津町の冬ならではのイベント盛りだくさんで皆さんをお迎えします。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

第46回衆議院議員総選挙 開票結果

衆議院議員総選挙の投票が12月16日に行われ、開票の結果、小選挙区の町の投票率は72.27%で、前回の投票率82.27%を10ポイント下回りました。町の候補者別、政党別の得票数は次のとおりです。

【小選挙区】有効投票4,412票 無効投票182票

候補者名	所属政党	得票数
おぐま しんじ	日本維新の会	1,385
かんげ 一郎	自由民主党	2,450
はらだ 俊広	日本共産党	223
小川 うぜん	社会民主党	354

【比例代表】有効投票4,396票 無効投票198票

政党等名称	得票数	政党等名称	得票数
社会民主党	226	民主党	963
公明党	294	日本共産党	198
幸福実現党	6	新党改革	27
みんなの党	304	日本維新の会	779
自由民主党	1,404	日本未来の党	195

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
 詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・広報広聴係 ☎45-4536

「健康がいちばん!2012inにしあいづ」から

11月23日に開催された町民参加型の健康まつり「健康がいちばん!2012inにしあいづ」では、講演や体験発表の後、昼食を挟み午後の部で、身体測定や歯周病のチェックなどの健康づくりコーナーのほか、食事や運動に関する健康相談コーナー、また、自分に合った運動を見つけてもらう運動コーナーなどが設けられ、来場者は体験しながら健康づくりを学んでいました。

こゆりちゃん トピックス



①昼食「麩っカツカレー」を提供する食生活改善推進員の皆さん／②受付では上野尻の清野フミさんから町に寄贈のあった手芸作品が配られました／④運動コーナーでのラジオ体操／④健康づくりコーナー／⑤スタンプラリーの模様／⑥・⑧運動コーナー・ミニオリンピックに参加する子どもたち／⑦健康づくりコーナーでの歯のチェック／⑨講演前に行われた寸劇

今月の表紙



人々を災難から守り、幸運の使いとされる今年の干支「巳」。これをかたどった張り子「首振り招福巳」の製作が野沢民芸品製作企業組合で最盛期を迎え、職人の皆さんは一つ一つこだわりの手作業で、開運を願い、心を込めて白の下地に金や赤、青などで絵付けにあたっていました。